

令和 6 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立大野小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立大野小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校 1 年生～2 年生において、生活科の 35 時間分（1 年生は 34 時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する 必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く（83.0%）、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
 - ・一部、計画通り実施できていない
 - ・ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	58.8
楽しい	29.4
あまり楽しくない	11.8
楽しくない	0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	64.7
楽しい	23.5
あまり楽しくない	11.8
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	70.6
話せるようになりたい	17.6
あまり話せるようになりたくない	5.9
話せるようになりたくない	5.9

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	58.8
知りたい	17.6
あまり知りたくない	17.6
知りたくない	5.9

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	80
楽しい	16
あまり楽しくない	4
楽しくない	0

② ALT の先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	88
楽しい	8
あまり楽しくない	4
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	80
話せるようになりたい	16
あまり話せるようになりたくない	4
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	80
知りたい	12
あまり知りたくない	4
知りたくない	4

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	91
よい	9
あまりよくない	0
よくない	0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	9
楽しみにしている	82
あまり楽しみにしていない	9
楽しみにしていない	0

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	13
増えていると思う	73
あまり増えていると思わない	14
思わない	0

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	22.7
(英語を) 聞く力	40.9
(英語を) 話す力	45.5
(英語を) 読む力	27.3
(英語を) 書く力	13.6
力が身に付いていると思わない	27.3

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

・英語を習い事でやっている人が多いのか、中学生になると英語の基礎的なことは出来ていて当たり前で授業が進んでいくと聞いたことがあります。経済的な理由で英語を習わせることが出来ない家庭もあるかと思います。そういった家庭のお子さんが中学生になっても困らないように、授業についていけなくて英語が嫌いにならないように小学生のうちから積極的に英語の授業を取り入れていただきたいです。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	42.9
よい	57.1
あまりよくない	0
よくない	0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	28.6
楽しみにしている	71.4
あまり楽しみにしていない	0
楽しみにしていない	0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	42.9
増えていると思う	42.9
あまり増えていると思わない	14.2
思わない	0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	14.3
（英語を）聞く力	57.1
（英語を）話す力	14.3
（英語を）読む力	0
（英語を）書く力	
力が身に付いていると思わない	

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

・毎週ではなく、2週に1回などでもよい。生活科の時間をもう少し充実させたいということがあります。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

低学年では以下の成果が得られた。

- ・簡単な英語のあいさつができるようになった。
- ・動物、花、天気、季節、数字、色、虫、果物、野菜の名前等日常で用いることの多い英単語を知ることができた。
- ・「うれしい」「悲しい」「眠い」「空腹だ」「くやしい」「驚いた」などの感情表現をジェスチャーを交えて表現できるようになった。

中高学年では以下の成果が得られた。

- ・リスニング力とジェスチャーによる表現力が向上し、ALTや級友との英語コミュニケーションが盛んにできるようになった。積極的に楽しみながら活動する様子が多く見られる。
- ・令和6年度(12月17日実施)の「英語トライアル」(6年生で実施)の結果は、リスニングの平均スコアが93.3%(前年度84.1%、前々年度75.7%)、リーディングのスコア平均が93.1%(前年度85.4%、前々年度85.5%)であった。6年生児童の83%(前年度71%、前々年度86%)が総合判断で「よくできました」という評価を得られる結果になった。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

ALTの以下にあげる積極的な活動により、児童は英語に触れる機会が増しており、特に低学年児童は、英語に親しみを感じ週1回の授業を楽しみにしている。

- ・毎週水曜日をEnglish Dayとして、ALTが朝の会に参加し、あいさつや健康観察を英語でやりとりしている。
- ・休み時間のコミュニケーション
- ・清掃時間の同行
- ・英語表記の名札活用
- ・階段踊り場の季節感のある「English コーナー」掲示物作成

授業においてALTは、常に明るく笑顔を交えた態度で臨み、多種多様な自作のイラストカードやインターネットを活用した動画など用いて、児童に分かりやすい工夫をもって接している。これらの教育活動の積み重ねにより、高学年になると、児童等はジェスチャーを交えながら、自らが表現したい内容を英語で一生懸命に伝えようとする姿が見られる。児童の発表に対して配られるプレゼントシールも好評である。

(3) 今後の課題

- ・身に付けた既習内容を、実際の生活の場面で使用できる自信の醸成。
- ・外国語の学習に興味関心を示さないあるいは嫌悪感をもつ児童への学習意欲の

喚起。

- ・言語能力の下地となる国語力の育成。
- ・コミュニケーション力の育成

5 授業の様子



1 年生 英単語カードで神経衰弱ゲーム



2 年生 英語の歌に合わせてジェスチャー